

阿久比町生涯スポーツ推進計画

令和5年3月
阿久比町教育委員会

目 次

第1章	はじめに	1
1.	計画策定の背景と目的	1
2.	計画の位置付け	2
3.	計画期間と目標値	2
4.	スポーツの意義	3
第2章	スポーツを取り巻く現状と課題	5
1.	国や愛知県の現状	5
2.	阿久比町の現状	6
3.	阿久比町の課題	15
第3章	計画の基本的な考え方	16
1.	計画目標	16
2.	基本施策	16
3.	新たな視点	16
4.	施策体系	17
第4章	施策の展開	18
1.	基本目標Ⅰ するスポーツの推進	18
2.	基本目標Ⅱ 観るスポーツの推進	21
3.	基本目標Ⅲ 支えるスポーツの推進	22
4.	実施計画	別表
資料編		
1.	阿久比町生涯スポーツ推進計画策定委員会設置要綱	資料1
2.	阿久比町生涯スポーツ推進計画策定委員会委員名簿	資料2
3.	阿久比町生涯スポーツアンケート調査票	資料3

第1章 はじめに

1. 計画策定の背景と目的

阿久比町生涯スポーツ推進計画（以下、「本計画」という。）は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条に基づき、国が策定したスポーツ基本計画を踏まえ、市町村が定めることのできる「地域の実情に即したスポーツの推進に関する計画」です。

本町では、平成19年度に誰もが、生涯の各時期、各場面で、それぞれの個性や生活に応じて、スポーツを楽しむことができる町の実現を目的として、阿久比町生涯スポーツ振興計画を策定しました。これは、平成24年度を目標年次とし、それまでに到達すべき実施計画を掲げるなかで、その達成のために実施すべき具体的な施策を示したものです。平成24年度には、従来の阿久比町生涯スポーツ振興計画を継承し、誰もが生涯にわたり、各自の個性や生活スタイルに応じてスポーツを楽しむことのできるまちを目指し、目標年次を平成29年度とする阿久比町生涯スポーツ推進計画を策定しました。平成29年度には、本町の地域特性や住民ニーズに応じたスポーツ施策の指針を示すため、目標年次を令和4年度（策定時は、平成34年度と表記。）とする阿久比町生涯スポーツ推進計画を策定しました。

前計画が令和4年度で計画期間の終了を迎え、前計画の取り組みが一定の効果をもたらしているという認識のもと、理念などを継承しつつ、年々変化するスポーツを取り巻く環境に対応するため、新たに目標年次を令和9年度とする本計画を策定します。

しかしながら、スポーツ振興は、行政だけでは実現することができません。住民・行政・各種団体とのパートナーシップによって本計画を推進していくことで、住民が健康で心豊かに、生きがいを持って生活を送れるよう、それぞれのライフスタイルに応じたスポーツ活動が推進され、スポーツを通じたつながりが人や地域の活力を生み出しているまちの実現を目指します。



2. 計画の位置付け

国や愛知県の計画を参考とした上で、本町の最上位計画である第6次阿久比町総合計画をはじめとした関連する各種計画との連携を図りながら、本町におけるスポーツ推進の方向性を示すものです。



3. 計画期間と目標値

本計画の期間は、令和5年4月から令和10年3月までの5年間とします。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
阿久比町	▶		▶ 阿久比町生涯スポーツ推進計画								
	▶ 第6次阿久比町総合計画										
県	▶		▶ 愛知県スポーツ推進計画								
国	▶		▶ 第3期スポーツ基本計画(国)								

また、次の2つを計画の目標として定め、達成に向けた施策を推進します。

項目	令和4年度 【計画策定時】	令和9年度 【目標値】
15歳以上の町民のスポーツ実施率	48.0%	70.0% ^(※1)
アクティブあぐい会員数	689人	1,000人

※1 国のスポーツ基本計画に、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、政策目標として「成人の週1回以上のスポーツ実施率が70%程度となることを目標とする。」としている。

4. スポーツの意義

近年、少子高齢化や核家族化、地域社会における人間関係の希薄化が進んでいるほか、大量かつ複雑な情報が飛び交うなど、私たちを取り巻く社会環境は急激に変化しています。

そのため、精神的なストレス増大や、運動不足による生活習慣病の増加、コミュニケーション能力の低下などのさまざまな問題が出てきています。

また一方では、個々の価値観やライフスタイルの多様化が進み、生活の中にゆとりや潤いといった心の豊かさを求める意欲が高まっています。

こうした社会状況において、スポーツは人々に大きな感動や楽しみを与え、人間個々の「こころ」と「からだ」の健全な発達に必要不可欠です。人々が生涯にわたってスポーツに親しむことは体を動かすという人間の本源的な欲求にこたえとともに、爽快感や達成感、仲間との連帯感などの精神的な充足や喜びを得ることができ、さらには体力の向上にも役立ち、心身の両面にわたる健康の保持増進に資するものであり、明るく豊かで活力に満ちた社会をつくる人類共通のかけがえのない文化の一つでもあります。

人間とスポーツのかかわりについては、スポーツを自ら行うことの他に、スポーツを観て楽しむことやスポーツを支援することもあります。特に、スポーツへの支援については、ボランティアとしてスポーツ推進に積極的にかかわりながら自己開発や自己実現を図ることが可能であり、今後の社会ではその重要性はますます高まってきます。

以上のように、スポーツの意義や社会的役割を認識し、その振興を一層促進していくための基盤の整備・充実を図ることは国や地方自治体などの重要な責務になっています。



青少年の健全育成

青少年におけるスポーツの役割は、心身の健全な発達を促し、特に自己責任やフェアプレイの精神を育て、仲間や指導者などと活動する中でコミュニケーション能力を発達させます。

また、豊かな心と相手への思いやりが育つなど教育的効果も期待でき、全力で活動することの大切さや達成感、感動、時に悔しい思いをすることは大人への成長にあたり非常に大切な経験です。さらに様々な要因による精神的なストレス解消の手段ともなり、心の安定に寄与するものです。

地域の活性化

地域社会における人間関係の希薄化が年々進んでいる中で、スポーツを通じて住民が交流を深めていくことは、住民相互の新たな連携を促進するとともに、共に一つの目標へと努力し達成感を味わうことや地域に愛情を感じることが期待でき、世代を超えて、あつまり、ともに、つながる機会であり、地域の活性化に繋がります。

また、子育てに悩む若い親たちや、高齢者、障がい者などを社会的孤立から守り、安心して生活できる地域づくりに貢献することが期待できます。

健康の保持増進

成人が地域のスポーツ活動に積極的に参加することは、ストレスの解消や生きがい作りに有効とされ、明るく活力にあふれる雰囲気をつくる／はぐくむことができます。特に高齢者がスポーツに取り組むことは、膨らむ医療費の削減や介護問題への支援に結び付き、長寿社会に向けてわたしたちが将来にわたって目指したい姿でもあります。

国際的な友好と親善

誰もがアクセスできるスポーツは世界共通の文化の一つであり、言語や生活習慣の違いを越えて、同一のルールの下で互いに競い合うことにより、世界の人々との相互理解や認識を一層深めることができるなど、国際的な友好と親善に役立つものです。



第2章 スポーツを取り巻く現状と課題

1. 国や愛知県の現状

わが国の動向として、平成23年に施行されたスポーツ基本法は、昭和36年に制定されたスポーツ振興法が50年ぶりに全面改訂されたもので、スポーツを通して幸福で豊かな生活を営むことは、すべて人々の権利であるとし、国や地方公共団体の役割やスポーツの基本的施策が示されています。

同法に基づき、平成24年にスポーツ基本計画、平成29年に第2期スポーツ基本計画が策定され、「する」「みる」「ささえる」といったさまざまな形ですべての人が参画する「一億総スポーツ社会」の実現に向けた取り組みが進められました。令和4年に策定された第3期スポーツ基本計画では、第2期計画を踏襲する一方で、「つくる／はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」、「誰もがアクセスできる」の3つの新たな視点を加えることで、「する」「みる」「ささえる」を真に実現できる社会を目指すとしています。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、スポーツに親しむ機会の喪失・制限によりさまざまな影響が顕在化したことで、反射的にスポーツが日頃、我々の生活や社会に活力を与えるなど優れた効果を及ぼす重要な価値を持つことが示されました。加えて、コロナ渦で開催された東京オリンピック・パラリンピック競技大会を通じて得られた経験は、今後の我が国のスポーツをより発展させていくために重要な意義を持つものとなります。

愛知県の動向として、平成25年に人々を取り巻く社会環境の急激な変化による精神的なストレスの増大や運動不足による生活習慣病の増加等を背景に、スポーツ推進計画「いきいきあいち スポーツプラン～豊かなスポーツライフの創造～」が策定されました。同計画では、県民一人ひとりがそれぞれのライフステージや興味・関心等に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ、活力のある「スポーツ愛知」を実現するための基本的な方向性が示されています。また、県及び名古屋市では、令和8年の第20回アジア競技大会の開催に向けた取り組みが進められています。

2015年9月の国連サミットで、2030年に向けて、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。SDGsの各目標は、魅力ある地域づくりの柱となるほか、経済・社会・環境の統合的な向上のため、本町においてもSDGsの目標達成に寄与する取り組みが求められています。本計画では、次の4つを特に重視した上で、施策に取り組みます。



2. 阿久比町の現状

(1) まちの特徴

本町は、知多半島中心部に位置し、名古屋市中心部や中部国際空港、西三河主要市町に約30分でアクセスできる立地条件と、阿久比川の両側に農地が広がり、みどり豊かな自然に包まれた住環境を併せ持つまちです。

また、近年は子育て世代を中心とした人口増加に対して、学童保育や中学校卒業までの通院医療費無料化などの子育て支援とともに、幼保小中一貫教育を推進するなど、子どもを育てやすいまちづくりに取り組んでいます。



（２）スポーツにおける特徴

○スポーツ協会

地域スポーツ振興会、地区スポーツ振興会、競技団体、スポーツ少年団本部によって構成され、町民がスポーツ活動をする機会を提供するとともに、競技能力の向上を図っています。

○スポーツ推進委員会

12名以内の委員で構成され、地域のスポーツ振興を担うとともに、ニュースポーツやイベントなどの活動を通じてスポーツ振興のコーディネーターとしての役割を担っています。

○地域総合型スポーツクラブアクティブあぐい

子どもからお年寄りまでが、身近な地域でスポーツを楽しむことができ、それぞれの志向・レベルに合わせて初心者から参加できるという特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるクラブで、ジュニアスポーツ教室の運営等を行っています。

○スポーツ施設

屋外施設として、阿久比スポーツ村に野球場と陸上競技場があり、板山・草木・白沢の3か所にグラウンドを有しています。屋内施設としては、阿久比スポーツ村に交流センターと室内練習場、ふれあいの森体育室、丸山公園武道場、白沢区民館体育室があります。



○阿久比スポーツフェスティバルレクリエーション大会

令和4年度に第74回を迎えた歴史ある町民運動会で、毎年10月上旬に町内23の行政区の住民、町内のスポーツ少年団員、福祉団体員などが阿久比中学校運動場に一堂に会し、体を動かすことを通じて親睦を図ります。

○健康づくりマラソン大会

毎年冬にスポーツ村陸上競技場周辺で開催し、参加者はすがすがしい冬の空気を切って、健脚を競います。

○愛知県市町村対抗駅伝競走大会

愛知県市町村対抗駅伝競走大会（愛知駅伝）は平成18年から開催され、平成29年大会町村の部で初優勝し、第15回大会（令和4年度）では3回目の優勝を果たしました。

○オリンピック出場者

平成30年に開催された平昌冬季オリンピックでは、スノーボード競技の男子スロープスタイル、ビッグエアに國武大晃（くにたけひろあき）選手が本町初のオリンピック選手となり、令和4年に開催された北京冬季オリンピックでは、スノーボード競技男子ビッグエアで4位に入賞されました。



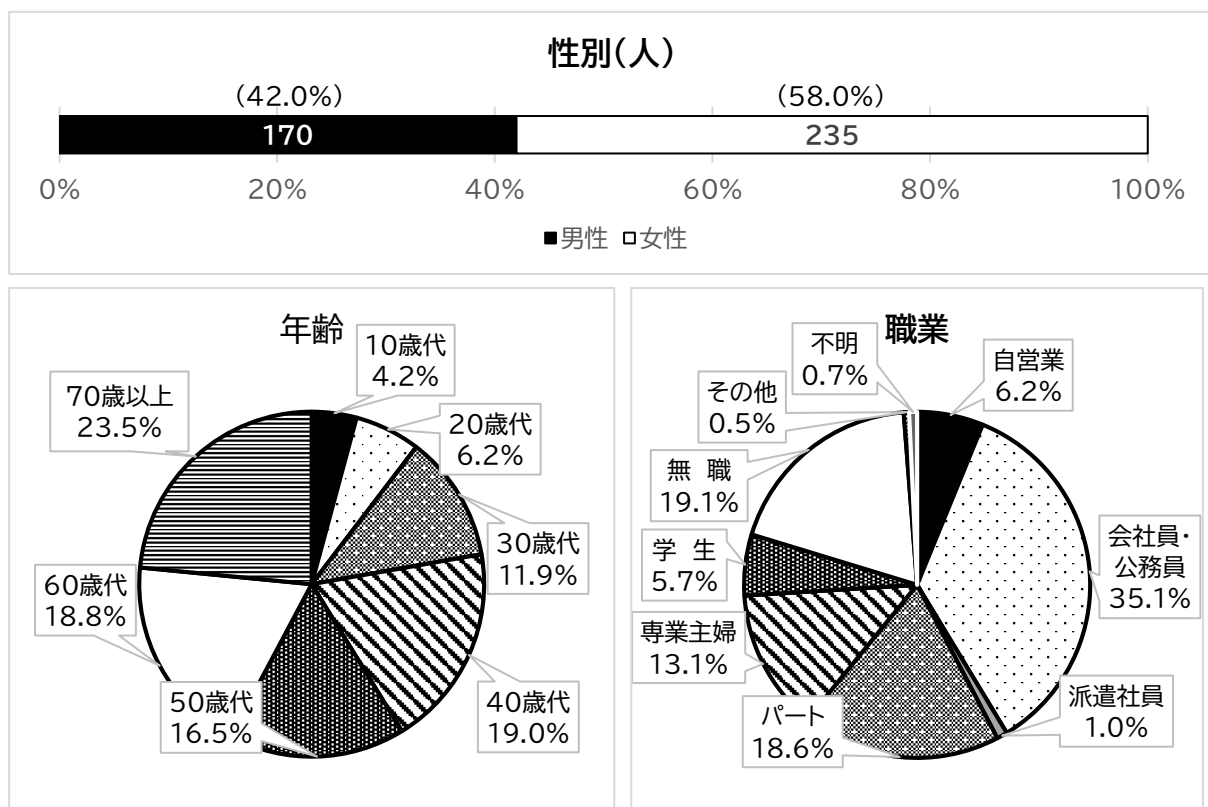
(3) スポーツにおける現状

本計画の策定にあたって、今後期待するスポーツ行政の方向や住民の意識構造の実態把握を目的にアンケートを実施しました。アンケート調査の主要な結果は、以下のとおりです。

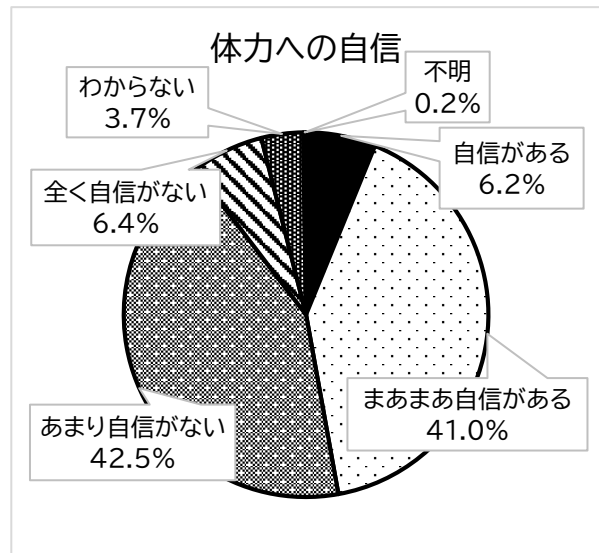
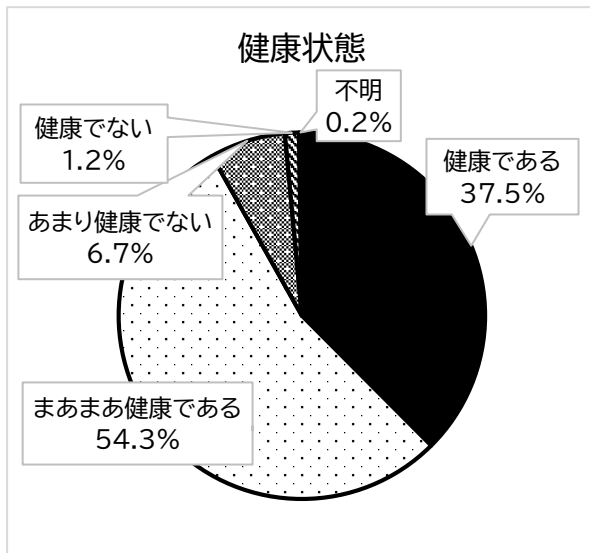
住民アンケート調査の概要

項目	内容
調査対象	15歳から79歳までの町内に居住する男女
抽出法	無作為抽出（住民基本台帳より抽出）
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
調査時期	令和5年2月
配布数等	配布数：1,000 有効回収数：405 有効回収率：40.5%
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・比率は百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%を上下する場合があります。 ・「複数回答」とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。

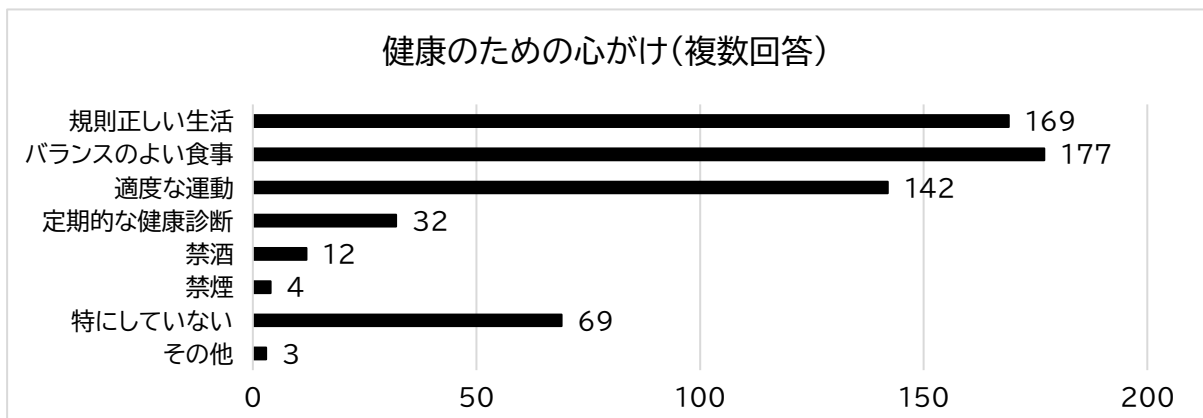
住民アンケート調査の結果



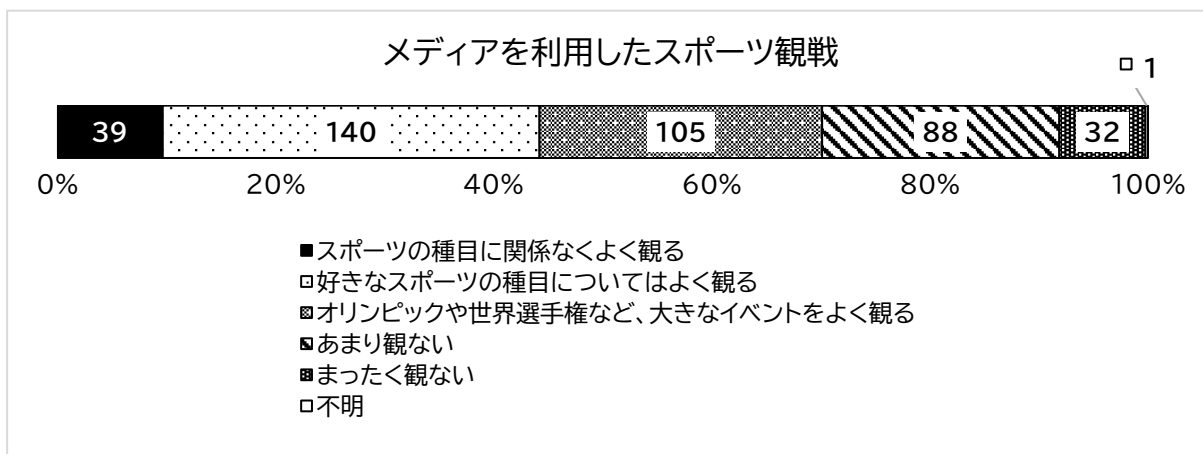
5年前のアンケート調査（前回調査）と同じく、男性よりも女性からの回答率が高い結果となりました。年齢や職業の属性に大きな変化は見られませんが、「専業主婦」と回答した方が5.5%減少しました。

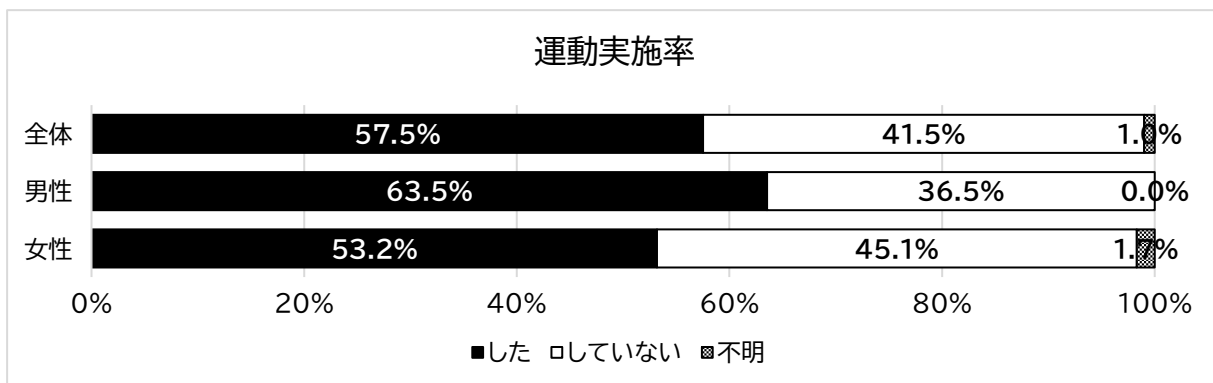


前回調査と比較し、健康状態について、「健康である」「まあまあ健康である」と回答した方の合計が4.3%増加したのに対し、体力への自信について、「自信がある」、「まあまあ自信がある」と回答した方の合計は、6.3%減少しました。

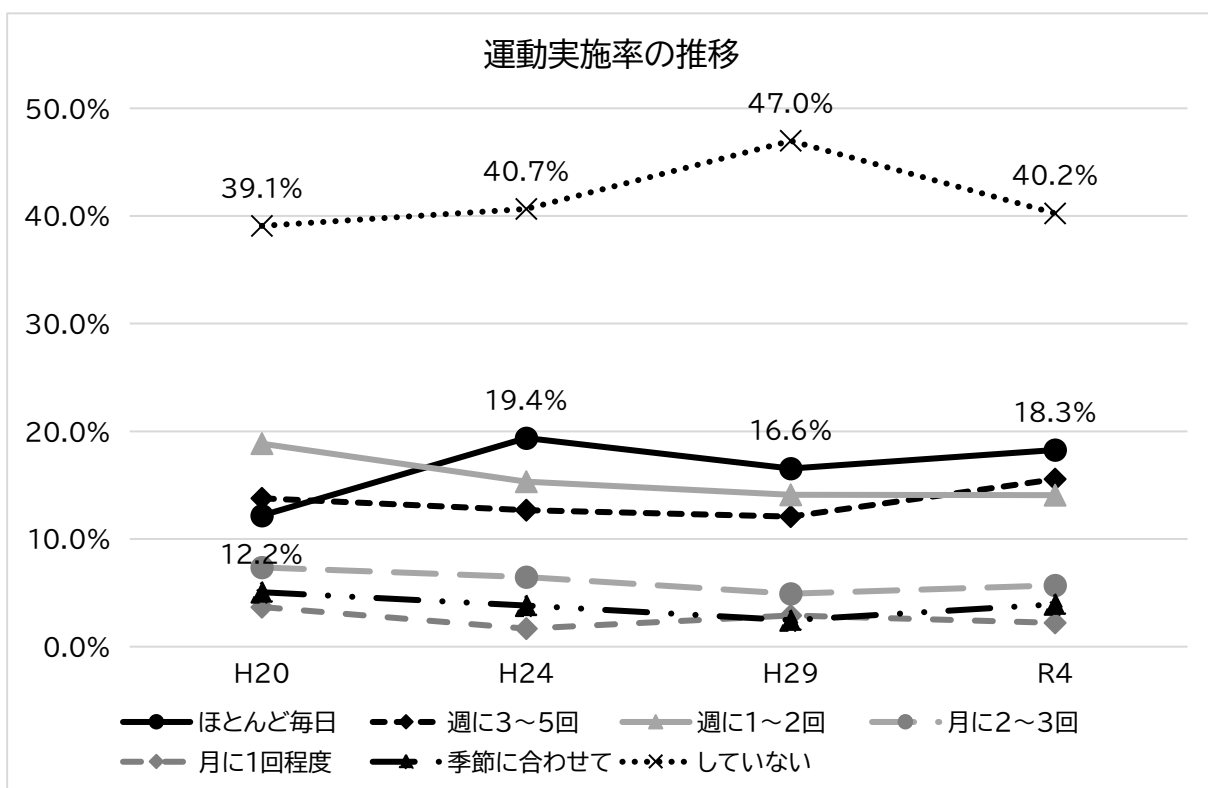


前回調査で最も多かった項目は「規則正しい生活」でしたが、今回は「バランスのよい食事」が最も多い結果となりました。また、「定期的な健康診断」と回答した方は、前回調査の半分以下に減少しました。





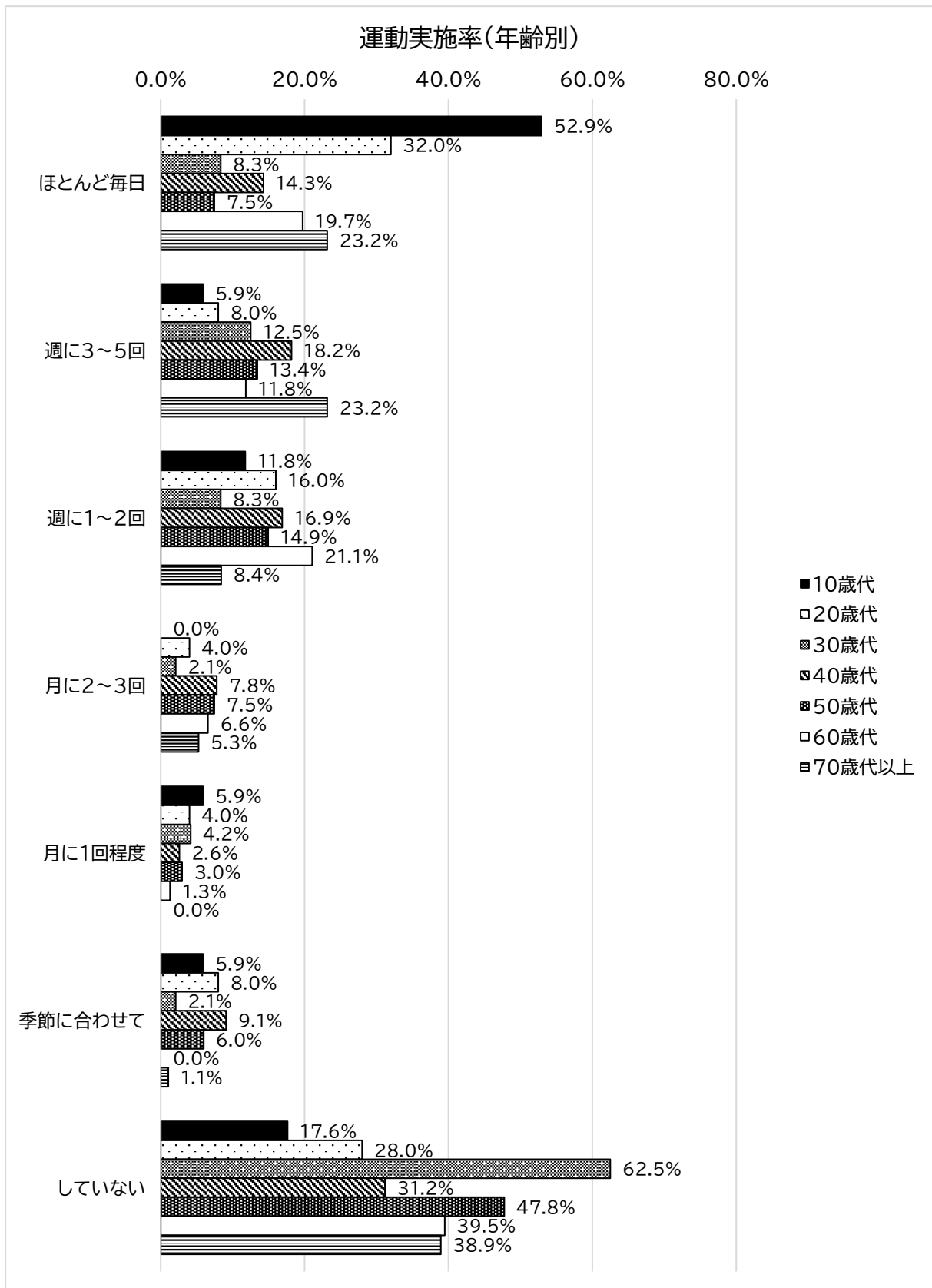
この1年間で、実施頻度は考慮せずに、運動やスポーツをしましたかとの質問に対する結果では、男女での実施率に差があります。



	週1回以上の運動実施率	ほとんど毎日	週に3~5回	週に1~2回	月に2~3回	月に1回程度	季節に合わせて	していない
H20	44.9%	12.2%	13.8%	18.9%	7.4%	3.7%	5.1%	39.1%
H24	47.4%	19.4%	12.7%	15.3%	6.5%	1.7%	3.8%	40.7%
H29	42.8%	16.6%	12.1%	14.1%	4.9%	2.9%	2.5%	47.0%
R4	48.0%	18.3%	15.6%	14.1%	5.7%	2.2%	4.0%	40.2%

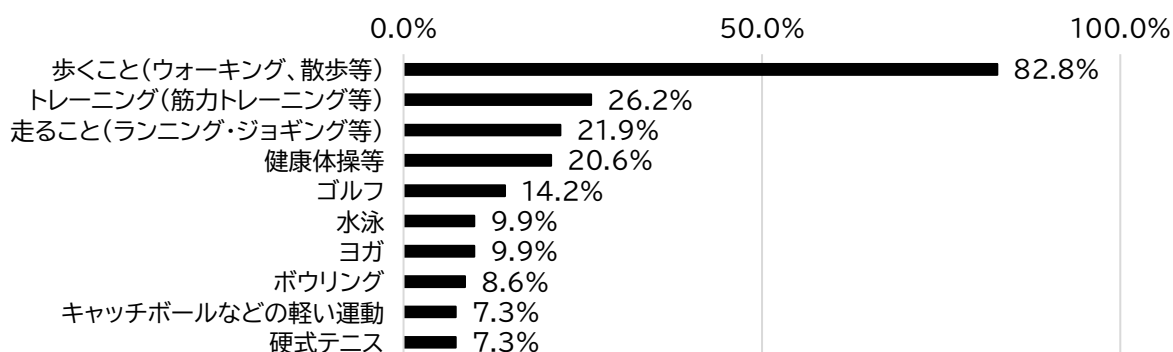
運動実施頻度の推移は概ね横ばいで推移しています。

全国の成人の週1回以上のスポーツ実施率は、56.4%ですが、本町は48.0%と国の平均値を下回っています。この結果を踏まえて、国の政策目標である70.0%を目指す取り組みが求められています。



年齢別の運動実施頻度では、10歳代は部活動などにより運動実施率が高いと推察されます。しかし、30歳代の運動実施率は低く、働く世代・子育て世代への対応が必要と考えられます。

スポーツする人の実施している上位10種目(複数回答)

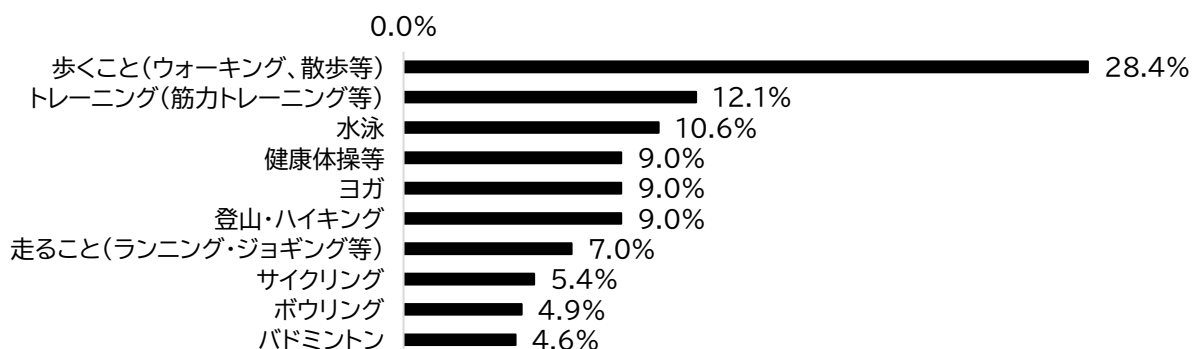


この1年間で運動やスポーツをした人のうち、8割以上がウォーキングや散歩等の歩くことを実施しています。前回調査と比較すると、上位3種目はすべて実施している割合が伸びています。

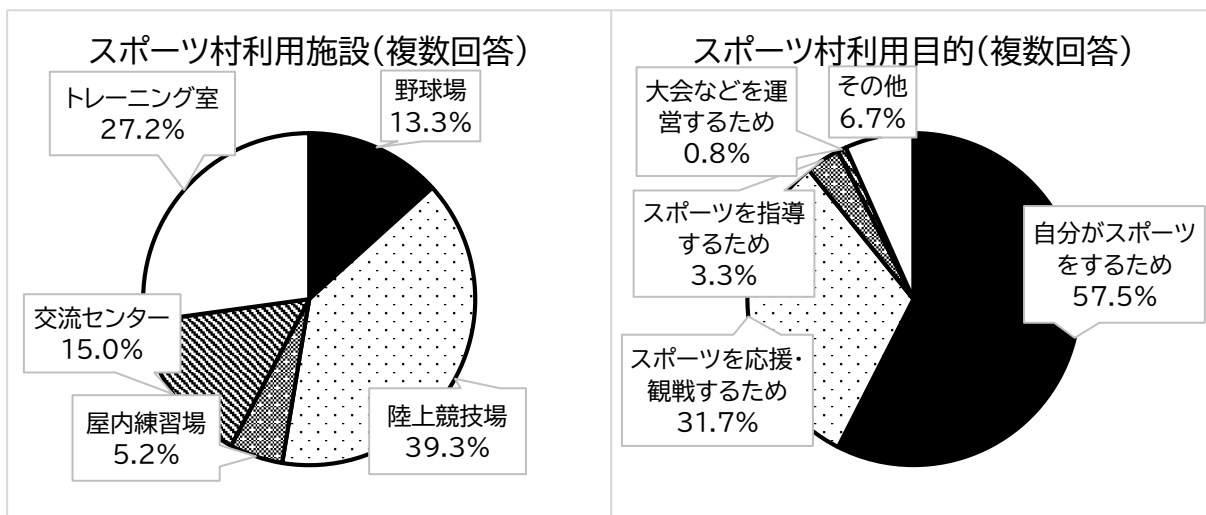
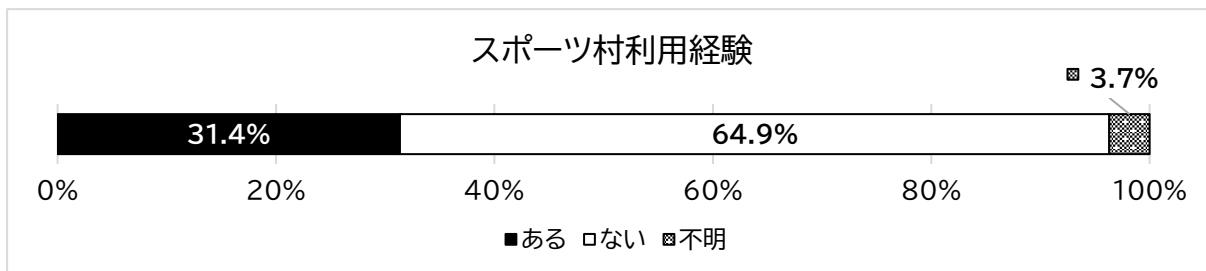
運動をしていない理由(複数回答)



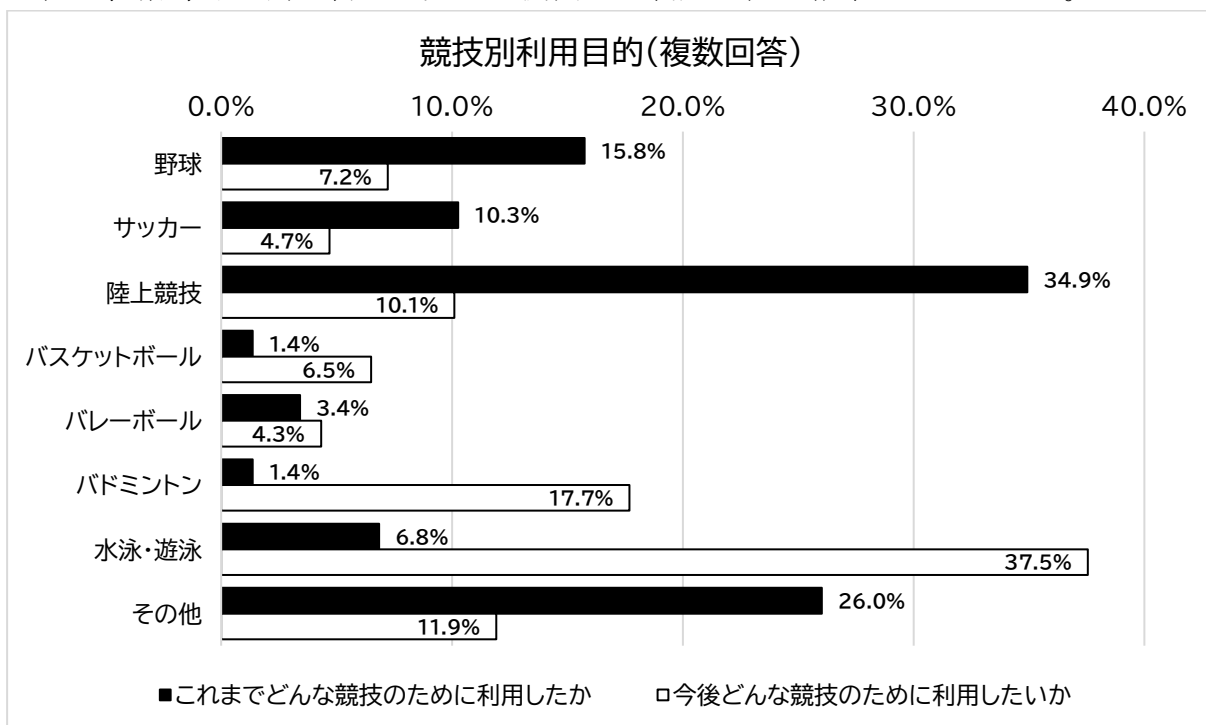
今後挑戦したい上位10種目(複数回答)



運動をしていない理由は、「健康・年齢などの身体的な理由」が最も多い結果となりました。また、運動をしていない方の今後挑戦したい種目は、「歩くこと（ウォーキング、散歩等）」、「トレーニング（筋力トレーニング等）」、「水泳」の順に多い回答となりました。



スポーツ村を利用したことがあると回答した方は、31.4%でした。利用したことがある方のうち、利用率の高い施設は、「陸上競技場」、「トレーニング室」、「交流センター」の順でした。利用目的は、「自分がスポーツをするため」が57.5%を占め、指導や大会運営など支える側面での利用は低い結果となりました。



競技別の利用経験と利用希望の回答は、「水泳・遊泳」や「バドミントン」の利用希望が高いのに対し、「陸上競技」や「野球」、「サッカー」は低い結果でした。

3. 阿久比町の課題

以上のようなスポーツにおける現状を踏まえ、次の3点を重要な課題として取り上げます。

(1) スポーツ実施率の向上

スポーツを実践している人の割合は近隣市町村に比べ高い状態にありますが、国の目標とする70%程度に届いていません。特に女性や働く世代の割合が低い状態にあるため、新型コロナウイルス感染症の影響などによる各種スポーツ事業の参加者数の伸び悩みへの対応やスポーツに対する意識の向上が必要です。

▶▶ **するスポーツの推進**

(2) 子どもたちのスポーツ機会の充実

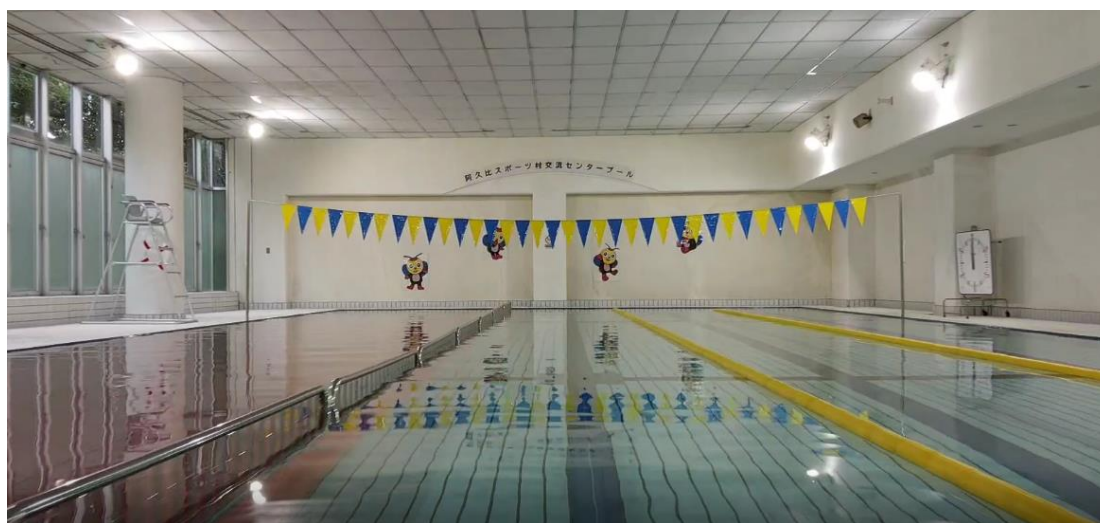
競技種目が多様化し、学校におけるスポーツ活動の機会が減少する中、子どもたちのスポーツ機会の減少が課題となっています。今後は、スポーツ推進委員の地域活動や地域総合型スポーツクラブ「アクティブあぐい」との連携、地域主体の部活動への移行の検討を進めるなど、地域でのスポーツ活動を充実していくことが必要です。

▶▶ **するスポーツ・支えるスポーツの推進**

(3) スポーツ施設の充実

スポーツ村野球場・陸上競技場やふれあいの森、各グラウンドなどは施設の老朽化への対応など適切な管理運営に努めるとともに、町民に身近な施設の有効活用やスポーツ活動に合わせた施設の在り方についての検討が必要です。また、スポーツ村交流センターは、ニーズの高い水泳・遊泳に対応することを始めとしたスポーツ拠点としての活用はもちろんのこと、スポーツ以外の分野との連携により付加価値のある施設が求められています。

▶▶ **するスポーツ・観るスポーツの推進**



▲ 阿久比スポーツ村交流センター屋内プール

第3章 計画の基本的な考え方

1. 計画目標

【 目指す将来像 】

住民が健康で心豊かに、生きがいを持って生活を送れるよう、

それぞれのライフスタイルに応じたスポーツ活動が推進され、
スポーツを通じたつながりが人や地域の活力を生み出しているまち

とします。

2. 基本施策

住民が年齢や体力に応じて主体的にスポーツ活動を行うことは、健康なからだと豊かな心を育みます。誰もが気軽に、安全・安心にスポーツに親しめる環境づくりや施設の充実に努めていきます。

基本目標Ⅰ するスポーツの推進

基本目標Ⅱ 観るスポーツの推進

基本目標Ⅲ 支えるスポーツの推進

3. 新たな視点

中長期的な基本施策を踏襲しつつ、前計画期間中に生じた社会情勢の変化やできごとを踏まえ、住民がスポーツを「する」「観る」「支える」ことを真に実現できる地域を目指すには、以下の3つの新たな視点が必要であると考えます。

新視点1 「つくる／はぐくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれず柔軟に見直し・改善し、最適な手法・ルールを考え、作ります。

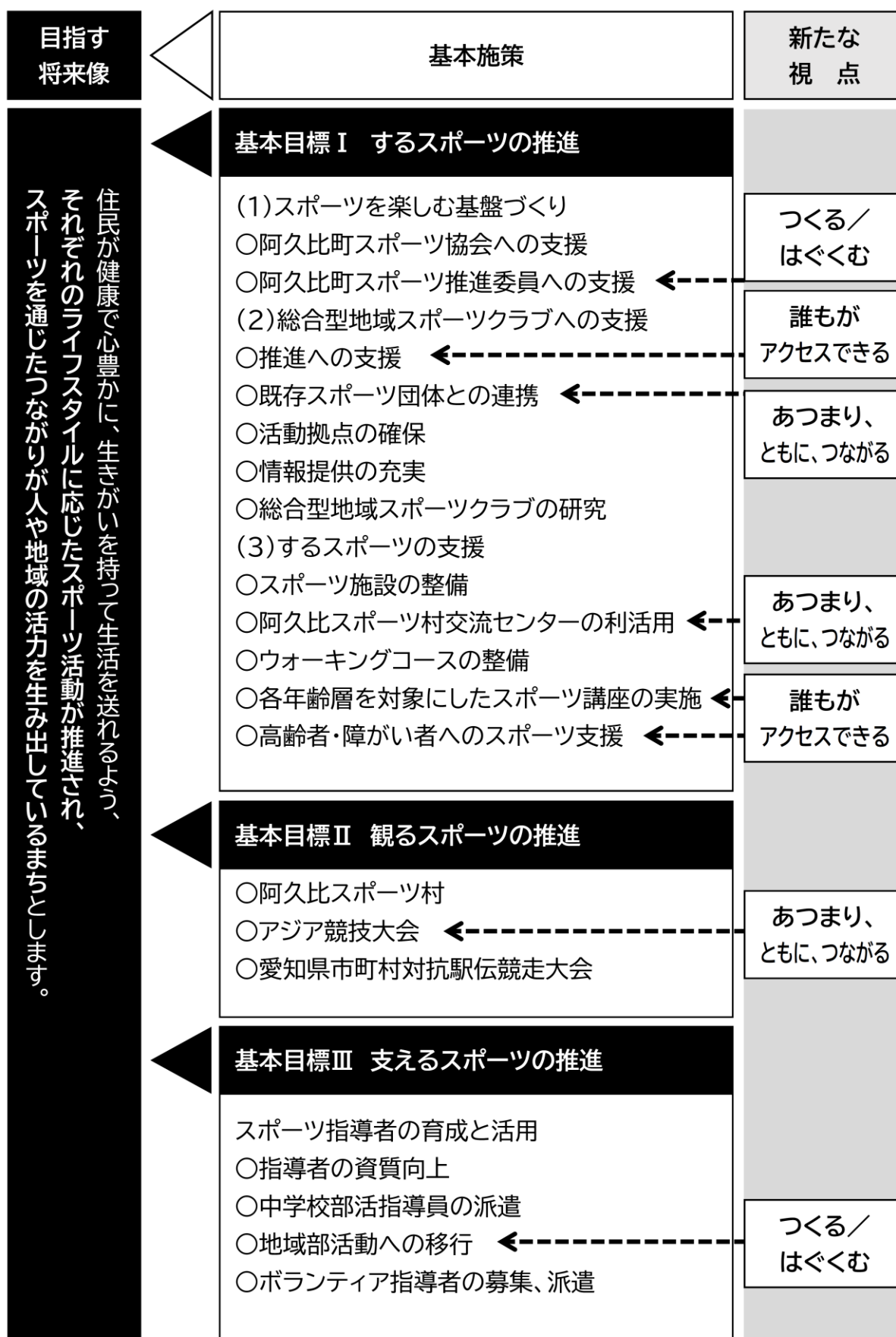
新視点2 「あつまり、ともに、つながる」

さまざまな立場・背景・特性を有した人・組織が集まり、課題の対応や活動の実施を図ります。

新視点3 「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障がい、経済事情などの違いによって、スポーツ活動の開始や継続に差が生じないような地域の実現や機運の醸成を図ります。

4. 施策体系



第4章 施策の展開

1. 基本目標Ⅰ するスポーツの推進

(1) スポーツを楽しむ基盤づくり

○阿久比町スポーツ協会への支援

阿久比町スポーツ協会は、地域スポーツ振興会、地区スポーツ振興会、16の競技団体、スポーツ少年団本部から組織されています。地域・地区スポーツ振興会においては、地区ごと、小学校区ごとの大会を行っています。競技団体においては、スポーツフェスティバル、スポーツ協会、競技団体長主催の3つの大会を行い、日々技術向上のため練習にも取り組んでいます。スポーツ少年団においては、5つの単位団からなり、各団の活動や、全団が集まる交流事業も行っています。これらの活動を今後も支援することにより、町民がスポーツ活動をする機会の提供を図り、競技団体においては、競技能力の向上にもつなげていきます。

○阿久比町スポーツ推進委員への支援

スポーツ振興法が平成23年8月に「スポーツ基本法」に改正されたことに伴い、「体育指導委員」が「スポーツ推進委員」に変更になりました。スポーツ推進委員は、これまでも非常勤公務員という誇りと使命感のもと、地域スポーツの拡大発展に大きく貢献してきましたが、今後においても地域スポーツ振興の推進役であるコーディネーターとしての役割が一層期待されており、その責務の重要性とともに、活躍の場は今後さらに広がっていくものと思われます。これらの活動を支援することにより、行政と町民とのパイプを太くして、より一層のスポーツの発展や健康づくりに寄与していくことに努めます。



(2) 総合型地域スポーツクラブへの支援

○推進への支援

平成20年3月に総合型地域スポーツクラブ『アクティブあぐい』を設立しました。これは、子どもから高齢者までが、身近な地域でスポーツに楽しむことのできるスポーツクラブで、それぞれの志向・レベルに合わせて初心者から参加できるという特徴をもち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。現在は、発足当時の草木小学校区から全町にその活動を広げ、各種教室やイベント活動に多数の方に参加いただいています。総合型地域スポーツクラブの運営は、本来はクラブの自主財源のみで行われるべきものですが、行政としては現在の状況を鑑みて、また地域住民の理解と協力が得られることがさらなる発展につながることから、今後も運営に向けての支援を続けていきます。ジュニアスポーツ教室については、受講者獲得のため教室内容等を確認しながら、町からの委託事業として継続してアクティブあぐいに委託します。

○既存スポーツ団体との連携

総合型地域スポーツクラブの発展には、既存スポーツ団体との連携を密にしていくことが、教室開催やイベント開催に必要不可欠です。行政がパイプ役となり、スポーツ協会の競技団体、スポーツ少年団等既存スポーツ団体との連携を図ります。

○活動拠点の確保

総合型地域スポーツクラブの発展には、継続して活動できる場所が必要不可欠です。学校体育施設やふれあいの森体育室等をアクティブあぐいの拠点として有効に活用します。また、体育施設に限らず、公民館等の社会教育施設も有効に活用します。

○情報提供の充実

現在、アクティブあぐいは毎月広報あぐいで、教室予定・行事予定等を掲載しています。併せてアクティブあぐい独自のホームページも開設され、いつでも気軽に教室開催の有無や、予定変更などの情報を収集することができます。

○総合型地域スポーツクラブの研究

愛知県広域スポーツセンターは総合型地域スポーツクラブづくりを支援しています。クラブ創設、育成の支援や人材育成、クラブ間の交流及び研修会、セミナーなどを通じて行っています。アクティブあぐいが広域スポーツセンター主催のセミナー等に参加し、クラブ発展のための情報収集に努めるよう働きかけます。

(3) するスポーツの支援

○スポーツ施設の整備

本町では、阿久比スポーツ村に野球場、陸上競技場、室内練習場、交流センターを設置し、グラウンドでは、板山グラウンド、草木グラウンド、白沢グラウンド、屋内施設ではふれあいの森体育室、丸山公園武道場、白沢区民館体育室をスポーツ活動の場として提供してきました。施設によっては老朽化が進んでいるところもありますが、修繕や整備を進め、町民の方にとって安全で快適な施設管理を目指します。

○阿久比スポーツ村交流センターの活用

令和4年4月にオープンした阿久比スポーツ村交流センターは、多目的体育室や屋内プールを併せ持つ施設です。多目的体育室はスポーツにおける利用はもちろんのこと、他施策との連携を図ることで、施設全体の効果的な活用をします。特に、屋内プールについては、令和4年度にプレオープンとして夏季の一般開放を実施しましたが、温水化により通年利用を可能にすることで、より多くの町民に利用される施設とします。

○ウォーキングコース・クロスカントリーコースの整備

歩く動作は誰でも行う日常行動であり、身近で気軽にできる運動です。ウォーキングは、身体的・精神的に効果を得ることができます。ウォーキングコースの整備は、それを始めるきっかけにもなります。また、阿久比スポーツ村陸上競技場内に身体的負荷が少なくケガのリスクを軽減したクロスカントリーコースを整備し、脚の細かなインナーマッスル群に刺激を入れ、体全体をバランスよく鍛えることができます。

○各年齢層を対象にしたスポーツ講座の実施

専門的なトレーニングコーチの指導のもと、親子プログラムから成人女性向け、三世代が参加できる家族向けなど各種世代に応じたスポーツ講座を実施します。

○高齢者・障がい者へのスポーツ支援

スポーツを通じて社会参画することができるよう、さまざまな情報を発信し、また利用しやすい器具を設置するなどの環境整備に努めます。

2. 基本目標Ⅱ 観るスポーツの推進

各種スポーツ大会の紹介

○阿久比スポーツ村

阿久比スポーツ村の中にある野球場は、ブルペンやスコアボードなどの施設が整った本格的な野球場です。高校野球の大会をはじめ様々な大会や、社会人野球チームのトレーニングとしても利用されています。陸上競技場は、全天候型トラックと天然芝グラウンドを併せ持ち、主に愛知県サッカー協会主催の大会や、知多地方中学校体育大会（サッカー競技）の会場として利用されています。毎月、広報あぐいでスポーツ村イベントガイドを掲載し、観るスポーツとしてもスポーツ村を活用してもらえるように情報を提供していきます。

○アジア競技大会

令和8年9月19日（土）から10月4日（日）まで第20回アジア競技大会が愛知・名古屋で開催されます。練習会場の誘致など大会開催を契機とした地域スポーツの振興が一過性のものとならないよう大会のレガシーを受け継ぎ、地域のスポーツ機運を醸成します。加えて、国際的な交流や多文化共生の一助となるよう取り組みます。

○愛知県市町村対抗駅伝競走大会

愛知県市町村対抗駅伝競走大会（愛知駅伝）は、平成17年に開催された愛知万博についてのメモリアルイベントを通じ次世代へ語り継ぐと同時に、県内各市町村の交流やスポーツ振興などを目的に開催されます。阿久比町チームは、町村の部において平成29年大会で初優勝をし、新型コロナウイルス感染症の影響で2年間の中断が明けた第15回大会（令和4年度）では3度目の町村の部優勝を果たしました。阿久比町チームの活躍により町民のスポーツ機運の醸成が図られます。



3. 基本目標Ⅲ 支えるスポーツの推進

スポーツ指導者の育成と活用

○指導者の資質向上

地域スポーツ活動の指導者としての幅広い知識を身につけていただくことを目的として、スポーツ指導者養成講習会を隔年で開催しています。現在、スポーツの指導をしている方やスポーツが好きで勉強をしてみたい方など、誰でも参加できます。また、町で開催しているリーダー養成講座への参加をスポーツ協会、スポーツ推進委員にも促し、リーダーとしての資質向上にもつなげています。併せて、愛知県広域スポーツセンターでは総合型地域スポーツクラブにおける人材育成を行っているので、クラブ関係者に、センターが主催するセミナー等に積極的に参加するよう促します。

○中学校部活指導員の派遣

中学校現場では、部活指導に種目の専門的な知識や技術指導が求められることや、運動部については週休日を含めて指導に多くの時間を要することがあり、教員の指導だけではその運営が難しくなっています。そこで、その支援策として、学校外部から、技術的な指導力を持ち、顧問教員の部活動の管理、運営に協力できる指導員を引き続き派遣します。

○地域部活動への移行

地域部活動とは、学校主体の部活動（学校部活動）を地域主体の部活動に移行して行う取り組みのことです。部活動の主体を地域に移すことで、教員の負担軽減や生徒の選択肢の拡充を目的とします。令和4年6月にスポーツ庁から部活動の地域移行について提言がなされ、その中で地域の実状に応じた形で令和7年度末までに開始することが推奨されています。

本町においては、令和5年9月以降から対応可能な一部の部活動で試行実施を行う予定で、各々の部活及びそれに参加する生徒の実状に応じ柔軟かつ着実に進めていきます。

○ボランティア指導者の募集、派遣

地域の中からボランティアで指導者として協力していただける方をアクティブあぐいと連携して募集し、人材の登録を行い、スポーツ教室、行事等への派遣をしています。

4. 実施計画

別表

生涯スポーツ推進実施計画			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	備考		
1 するスポーツの推進	(1)スポーツを楽しむ基盤づくり	阿久比町スポーツ協会への支援	スポーツ大会・スポーツ表彰	町民のスポーツ活動の機会の提供・競技力向上	町民のスポーツ活動の機会の提供・競技力向上	町民のスポーツ活動の機会の提供・競技力向上	町民のスポーツ活動の機会の提供・競技力向上	町民のスポーツ活動の機会の提供・競技力向上		
		阿久比町スポーツ推進委員への支援	スポーツ教室・スポーツイベント	スポーツ行事のリーダーやコーディネーターとしての役割を担当	スポーツ行事のリーダーやコーディネーターとしての役割を担当	スポーツ行事のリーダーやコーディネーターとしての役割を担当	スポーツ行事のリーダーやコーディネーターとしての役割を担当	スポーツ行事のリーダーやコーディネーターとしての役割を担当		
	(2)総合型地域スポーツクラブアクティブあぐいへの支援	推進への支援			運営に向けての支援	運営に向けての支援	運営に向けての支援	運営に向けての支援	運営に向けての支援	
			ジュニアスポーツ教室(各種目)	ジュニアスポーツ教室の開催(阿久比町委託)	ジュニアスポーツ教室の開催(阿久比町委託)	ジュニアスポーツ教室の開催(阿久比町委託)	ジュニアスポーツ教室の開催(阿久比町委託)	ジュニアスポーツ教室の開催(阿久比町委託)	ジュニアスポーツ教室の開催(阿久比町委託)	総合型地域スポーツクラブの運営基盤が整い次第クラブにて単独開催
		既存スポーツ団体との連携		スポーツ少年団・体育協会各競技団体との連携	スポーツ少年団・体育協会各競技団体との連携	スポーツ少年団・体育協会各競技団体との連携	スポーツ少年団・体育協会各競技団体との連携	スポーツ少年団・体育協会各競技団体との連携		
		活動拠点の確保		活動拠点の確保・検討	活動拠点の確保・検討	活動拠点の確保・検討	活動拠点の確保・検討	活動拠点の確保・検討		
		情報提供の充実	ホームページ・回覧等による情報提供・PR	ホームページによる情報提供	ホームページによる情報提供	ホームページによる情報提供	ホームページによる情報提供	ホームページによる情報提供		
		総合型地域スポーツクラブの研究		総合型地域スポーツクラブの研究	総合型地域スポーツクラブの研究	総合型地域スポーツクラブの研究	総合型地域スポーツクラブの研究	総合型地域スポーツクラブの研究		
	(3)するスポーツの支援	スポーツ施設の整備	修繕・改修等	スポーツ施設の整備を行い、安全で快適な環境整備	スポーツ施設の整備を行い、安全で快適な環境整備	スポーツ施設の整備を行い、安全で快適な環境整備	スポーツ施設の整備を行い、安全で快適な環境整備	スポーツ施設の整備を行い、安全で快適な環境整備		
		阿久比スポーツ村交流センターの活用		トレーニング室の交流センター移転と屋内プールの温水化	効果的な活用の検討と老朽化への対応	老朽化に対する対応(防水工事)	効果的な活用の検討と老朽化への対応	効果的な活用の検討と老朽化への対応		
		ウォーキングコース・クロスカントリーコースの整備		クロスカントリーコースの整備	ウォーキングコースの研究	ウォーキングコースの研究	ウォーキングコースの設定・距離表示等の設置	ウォーキングコースの設定・距離表示等の設置		
		各年齢層を対象にしたスポーツ講座の実施	毎月第3日曜日開催	専門的なトレーニングコーチを派遣、各種プログラムを実施	専門的なトレーニングコーチを派遣、各種プログラムを実施	専門的なトレーニングコーチを派遣、各種プログラムを実施	専門的なトレーニングコーチを派遣、各種プログラムを実施	専門的なトレーニングコーチを派遣、各種プログラムを実施		
		高齢者・障がい者へのスポーツ支援		個人の程度に応じた種目の紹介や施設、器具の整備	個人の程度に応じた種目の紹介や施設、器具の整備	個人の程度に応じた種目の紹介や施設、器具の整備	個人の程度に応じた種目の紹介や施設、器具の整備	個人の程度に応じた種目の紹介や施設、器具の整備		
		阿久比スポーツ村	スポーツ村イベントガイド	広報・ホームページを通じたスポーツイベントの紹介	広報・ホームページを通じたスポーツイベントの紹介	広報・ホームページを通じたスポーツイベントの紹介	広報・ホームページを通じたスポーツイベントの紹介	広報・ホームページを通じたスポーツイベントの紹介		
	2 観るスポーツの推進	各種スポーツ大会の紹介	アジア競技大会		大会機運の醸成と練習会場の誘致	大会機運の醸成と練習会場の誘致・整備	大会機運の醸成と練習会場の誘致・整備	大会開催を契機とした地域のスポーツの振興	大会のレガシーを受け継ぎ、地域のスポーツ機運を醸成	
			愛知県市町村対抗駅伝競走大会		チームの活動支援と機運の醸成	チームの活動支援と機運の醸成	チームの活動支援と機運の醸成	チームの活動支援と機運の醸成	チームの活動支援と機運の醸成	
	3 支えるスポーツの推進	スポーツ指導者の育成と活用	指導者の資質向上	指導者講習会の開催	各専門分野団体と連携したプログラムの開発・実施	各専門分野団体と連携したプログラムの開発・実施	各専門分野団体と連携したプログラムの開発・実施	各専門分野団体と連携したプログラムの開発・実施	各専門分野団体と連携したプログラムの開発・実施	
社会教育との連携				社会教育リーダー養成講座との連携	社会教育リーダー養成講座との連携	社会教育リーダー養成講座との連携	社会教育リーダー養成講座との連携	社会教育リーダー養成講座との連携		
愛知県広域スポーツセンターとの連携				アクティブあぐいと協力してスポーツ指導者養成事業への派遣	アクティブあぐいと協力してスポーツ指導者養成事業への派遣	アクティブあぐいと協力してスポーツ指導者養成事業への派遣	アクティブあぐいと協力してスポーツ指導者養成事業への派遣	アクティブあぐいと協力してスポーツ指導者養成事業への派遣		
中学校部活指導員の派遣			中学校との連携	中学校へ部活指導員を派遣部活動の内容充実を支援	中学校へ部活指導員を派遣部活動の内容充実を支援	中学校へ部活指導員を派遣部活動の内容充実を支援	中学校へ部活指導員を派遣部活動の内容充実を支援	中学校へ部活指導員を派遣部活動の内容充実を支援		
地域部活動への移行				対応可能な一部の部活動で試行実施の検討	対応可能な一部の部活動で試行実施の検討	対応可能な一部の部活動で試行実施の検討	すべての部活動で試行実施の検討	すべての部活動で試行実施の検討		
ボランティア指導者の募集・派遣				ボランティア指導者の募集・派遣	ボランティア指導者の募集・派遣	ボランティア指導者の募集・派遣	ボランティア指導者の募集・派遣	ボランティア指導者の募集・派遣		